

第81期 中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

心ひろがる技術

MITSUBA

株式会社 ミツバ

証券コード：7280

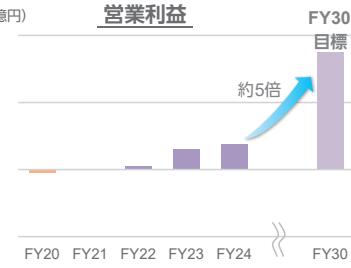
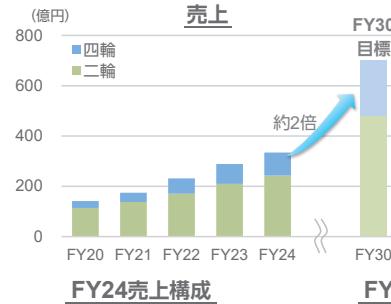
Topics ■ トピックス ■

中期経営計画の実現に向けて

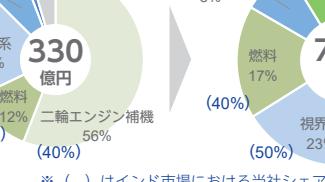
モビリティ進化への対応～インド拡大～

インド市場の更なる成長に対応し、事業ポートフォリオ拡大を計画中。

インドの事業拡大に向けた調査～製品開発～生産準備～量産対応に向けて、全社を挙げて推進中。



四輪：FY21～25：S&Pデータ、FY30は客先情報を基にした社内数値
二輪：FY21～25：2025年5月までの実績+見込み、FY30は客先情報を基にした社内数値



- 二輪のエンジン補機・燃料はシェア拡大に伴い売上増加
- 視界系の積極的な受注と投資により売上比率を拡大
- 電動化に対応するため、二輪EV駆動を新規立ち上げ

インドにR&D拠点を設立

- 現在の生産4拠点に加え、新たにR&D拠点を設立いたします。
- インド現地でのお客様へのよりレスポンスの高い対応を実現し、インドでの更なる拡販に繋げることを目的としております。

名 称	ミツバ・インディア R&D Pvt. Ltd. (予定)
所 在 地	タミルナドゥ州チェンナイ市
事 業 内 容	車載用・汎用電装部品の開発及びマーケティング
資 本 金	5億インドルピー
設 立 日	2026年4月 (予定)
大 株 主 及 び 持 株 比 率	当社及び当社子会社 100%



株主の皆さまへ

当社グループが関連する自動車業界では、減速傾向にある世界経済、インフレや地政学リスク、米国の追加関税政策が大きな影響を与えました。EV市場は各国での補助金縮小や価格競争で伸び悩み、ハイブリッド車(HEV)への回帰が進行。また米国では、現地生産強化で関税回避を図る動きも見られました。

このような状況の下、当社グループにおいては、中期経営計画(2023年度-2027年度)の3年目がスタート、「成長ポートフォリオへのリソースシフト」のフェーズに突入し、重点施策である「モビリティ進化への対応」「経営基盤の強化」「財務体質の健全化」を計画達成に向け引続いて推進しております。

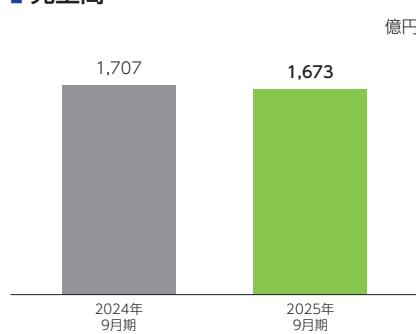
当中間連結会計期間の連結業績は、二輪及び情報サービス事業は好調に推移したものの、四輪生産台数の減少及び円高による為替影響もあったことから、連結売上高は1,673億35百万円(前年同期比2.0%減)となり、連結営業利益は99億38百万円(前年同期比3.2%減)となりました。また、連結経常利益は102億87百万円(前年同期比17.1%増)となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、65億20百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

取締役社長 日野 貞実

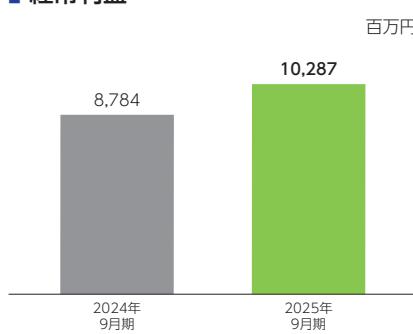


連結財務ハイライト

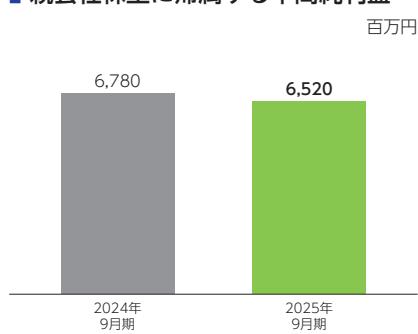
売上高



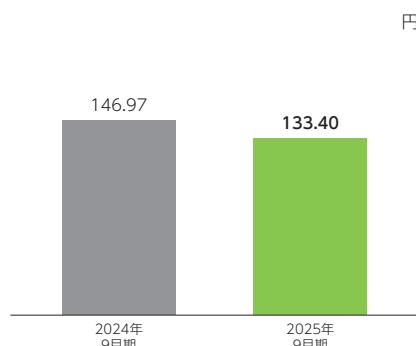
経常利益



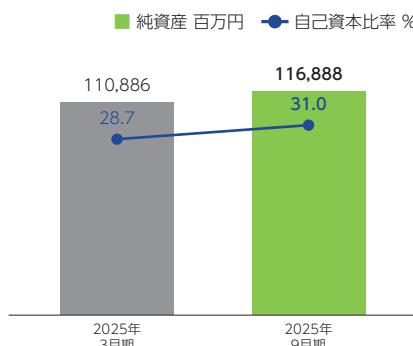
親会社株主に帰属する中間純利益



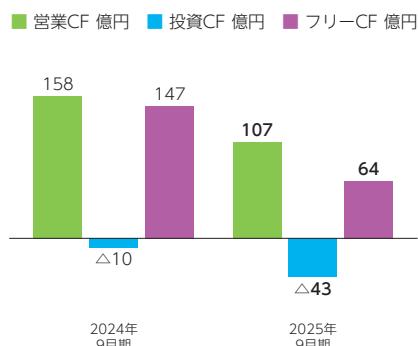
1株当たり中間純利益



純資産



キャッシュ・フロー



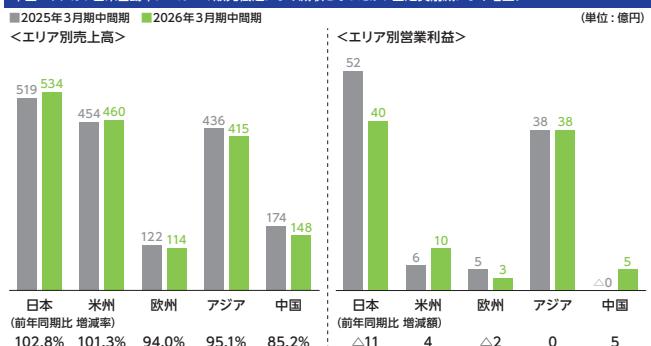
セグメント別業績

	2025年3月期中間期			2026年3月期中間期			営業利益 増減額 (B-A)	営業利益 増減率 (B/A)
	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率	売上高	営業利益 (B)	営業 利益率		
輸送用機器関連事業	1,600	91	5.7%	1,554	83	5.4%	△8	90.6%
情報サービス事業	76	6	8.4%	93	11	12.4%	5	180.1%
その他事業	30	4	13.9%	25	4	17.1%	0	105.2%
合計	1,707	102	6.0%	1,673	99	5.9%	△3	96.8%

輸送用機器関連事業	・二輪販売の好調は継続しているものの、四輪販売の落ち込みと販上げによる人件費増もあり減収減益
情報サービス事業	・各セグメントが堅調に推移したことに加え、下期案件が上期に前倒しになったことにより増収増益

エリア別業績

日本エリアは、情報サービス事業が増収増益だが、輸送用機器関連事業の売上減と人件費・経費の増加により減益。米州エリアは、米国開拓の影響はあるものの、南米二輪販売の好調により増収増益。アジアエリアは、二輪販売の好調は継続しているものの、四輪販売が落ち込み減収。中国エリアは、日系自動車メーカーの販売低迷により減収となったが、固定費削減により増益。



連結業績予想などの将来予測情報について

2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想につきましては、足下の半導体不足による影響など外部環境が不透明なことから据置きとさせていただきます。

寄付に関するご報告

当社では、株主優待制度を通じ、日本赤十字社の海外救援金への寄付活動を行っております。本年度は305名の株主さまのご賛同をいただき、504,500円を寄付させていただきました。株主さまには厚く御礼申しあげるとともに、引き続き社会貢献活動に取り組んでまいります。

※寄付金は海外で大規模な災害や紛争などの緊急事態が発生した際に、被災地の赤十字社や日本赤十字社が現地で実施する救援活動・復興支援活動を支援するための海外救援金に役立てられます。

株式に関するお手続き

証券会社の口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などの変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ	口座を開設されている証券会社
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/

特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増請求 配当金の受領方法・振込先のご変更 届出住所・姓名などの変更 マイナンバーに関するお届出・お問い合わせ 特別口座から証券口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) https://www.tr.mufg.jp/daikou/
郵送物の発送と返戻に関するご照会 株式実務一般に関するお問い合わせ 支払期間経過後の配当金に関するご照会	株主名簿管理人

「株主総会資料」書面をご希望の場合は、お手続きが必要です。

株主総会資料の電子提供制度が開始されたことに伴い、2026年の当社株主総会資料を書面でお受け取りをご希望される場合は、2026年3月31日までにお取引のある証券会社又は上記株主名簿管理人を通じて、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要がございます。